



【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場 所： 琴丘総合体育館 (Aコート)	記入者： 藤倉 修・武田 憲	
チームA 平 鹿 (秋田 1位)	12 - 9 8 - 10 13 - 6 20 - 9	チームB 若松第三 (福島 2位)

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #12
	チームB： #4, #5, #6, #7, #10
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン (2-1-2 ゾーン) <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、平鹿はマンツーマン、若松第三は2-2-1ゾーンプレスからの2-1-2ゾーンディフェンスでスタート。開始直後は両チームともに動きが硬く、思うように得点を上げられない。平鹿は2-1-2ゾーンディフェンスに変え、#6 柿崎#4 斎藤のジャンプシュートで流れをつかむ。若松第三は豊富な運動量で平鹿ボールを奪いにかかるが、平鹿は冷静なボール運びをみせる。残り3分からは平鹿が高さと運動量を生かした攻撃で連続8得点をあげて残り1分41秒で12-7とし、たまたま若松第三がチャージドタイムアウトをとる。その後は両チームともに点数が伸びず、終了間際に若松第三#5 吉田がシュート決めて12-9で第1ピリオドを終了した。

第2ピリオド、互いにゾーンディフェンスを攻めきれない試合展開となるも、ターンオーバーからの速攻で平鹿#6 柿崎がレイアップを決めると、若松第三も#6 三浦が3Pを決めて応戦する。以後は平鹿の高さを生かしたポストプレイやドライブ中心の攻撃に対し、若松第三はアウトサイドシュート中心の攻撃をみせる。互いにディフェンスを崩せず3分間無得点が続いたが、残り2分に平鹿#14 佐藤#12 柴田が連続得点を上げる。若松第三も#6 三浦が3Pシュートを決めて20-19で第2ピリオドを終了した。

第3ピリオド、序盤に平鹿は速攻から#4 斎藤が得点をあげると、若松第三も#5 吉田がシュートを決め、互いに譲らない展開となる。平鹿の動きが次第によくなり始めて制空権を支配すると、#5 斎藤がバスケットカウントとジャンプシュートなどで3連続シュートを決めて主導権をつかむ。対する若松第三は#6 三浦がターンオーバーからの速攻による得点などで点差を詰める。しかし、平鹿は#14 佐藤の交代直後のスティールからの得点やリバウンドで、33-25とリードを広げて第3ピリオドを終了した。

第4ピリオド、開始早々に若松第三#6 三浦がドライブからの得点を上げるも、平鹿は#14 佐藤が3Pシュートを決めてリードを広げる。活路を見いだしたい若松第三は残り6分4秒でチャージドタイムアウトをとり、マンツーマンディフェンスに切り替えて流れをつかもうとする。平鹿は#7 金子のバスケットカウントでの得点を機に、ゴール前への飛び込みで#6 柿崎が追加点を上げて波に乗る。以降も若松第三はドライブを中心としたオフェンスを展開するが、平鹿ディフェンスを突破できずに追い上げられない。残り1分45秒に平鹿#9 田中が3Pを決めて45-30とすると、若松第三がチャージドタイムアウト。その直後に若松第三#5 吉田が得点を上げるが、着実に得点を重ねた平鹿が後半に自力をみせて初戦をものにした。若松第三はタイムアップまでボールへの執着心をみせた中学生らしい戦いぶりであった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。